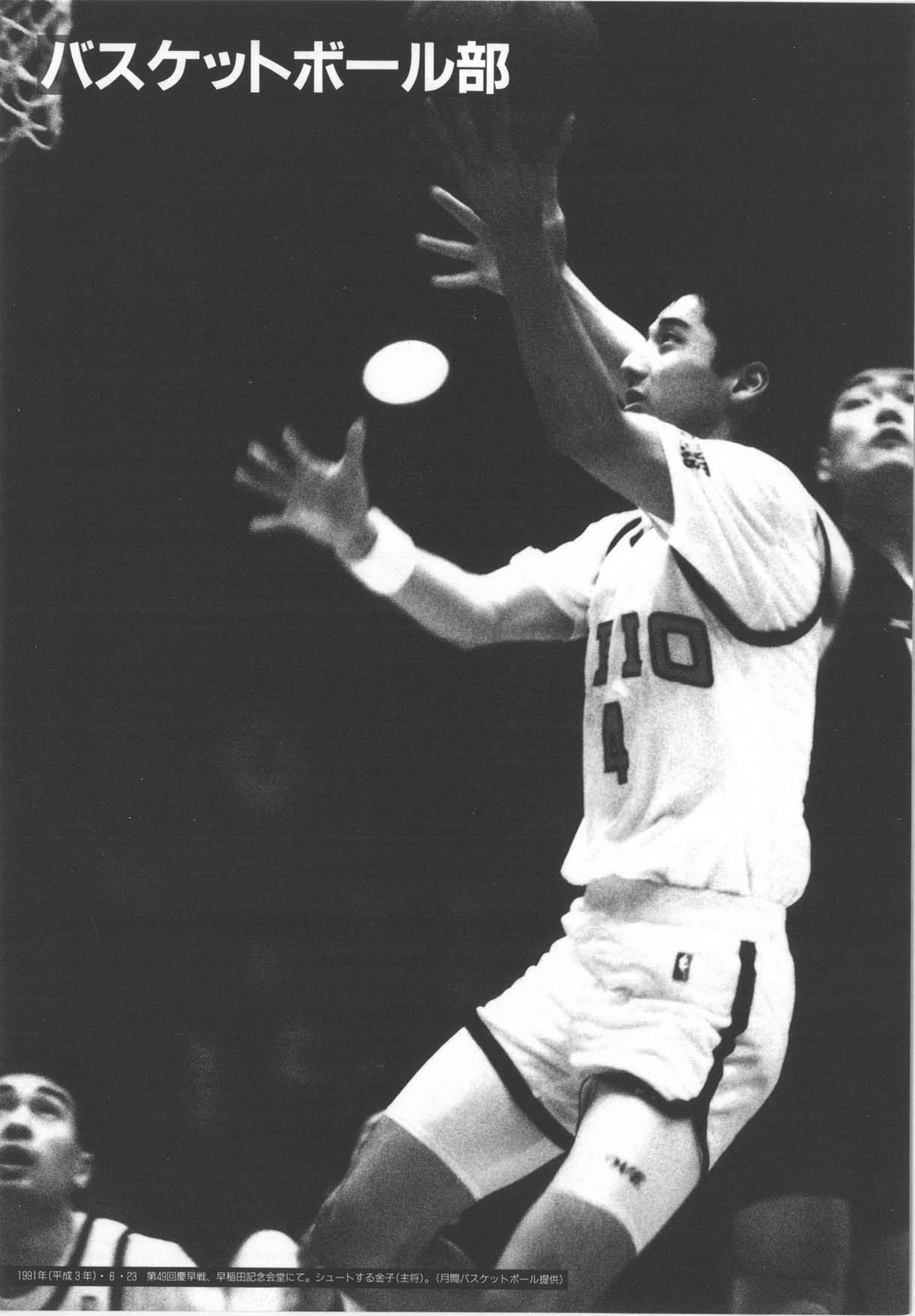


バスケットボール部



KEIO BASKETBALL TEAM

1933年(昭和8年)・3 部旗。黒河内三郎、山田三平、田中介の3君が卒業記念に寄贈。



1949年(昭和24年) 第1回全日本学生選手権、優勝の盾。



1931年(昭和6年)・2・7 体育会加盟当時の現役集合写真。



1949年(昭和24年)・12・5 第1回全日本学生選手権大会に優勝。前列左から増島、武富、広沢、有吉、後列左から高井、辻、水野、小倉、長島、片山、新井、石井。



1951年(昭和26年) 湖田塾長を囲み年間25連勝を祝う。寺尾夫妻はじめ石丸、唐沢、千種、照井の関係者に玉置、上保、立花、武山、西都OBの顔が見える。



1956年(昭和31年)頃 羽田空軍基地での試合後、左端に立つ極東空軍キャプテン・クレイブンとアシスタント・ピンキー氏、武富、新井OBを交えて記念撮影。



1952年(昭和27年)・1・21 第27回全日本総合選手権大会に優勝して。



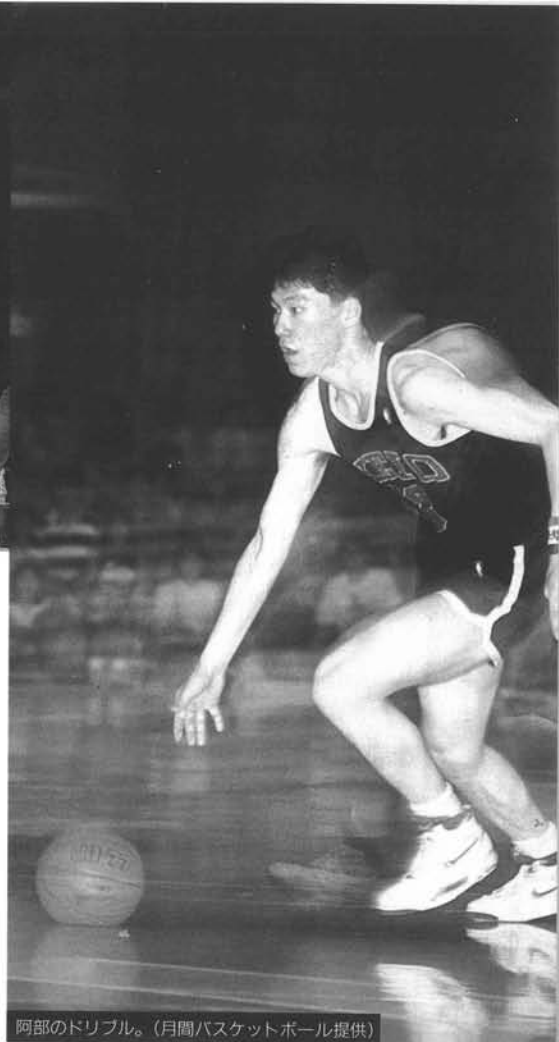
1952年(昭和27年)・2 アサヒスポーツ最優秀団体賞を獲得し、塾長、体育会理事を迎えて祝う。



1957年(昭和32年)・12 全日本学生選手権に優勝、記念撮影。



1957年(昭和32年)・12 全日本学生選手権に勝った夜。OBと現役を交えての祝勝会。お茶の水・駿河台ホテルにて。



阿部のドリブル。(月間バスケットボール提供)



1959年(昭和34年) 第11回全日本学生選手権、優勝の盾。

1990年(平成2年)・6・10 第48回
慶早戦。早稲田記念会堂にて。
伊東コーチと稲葉。

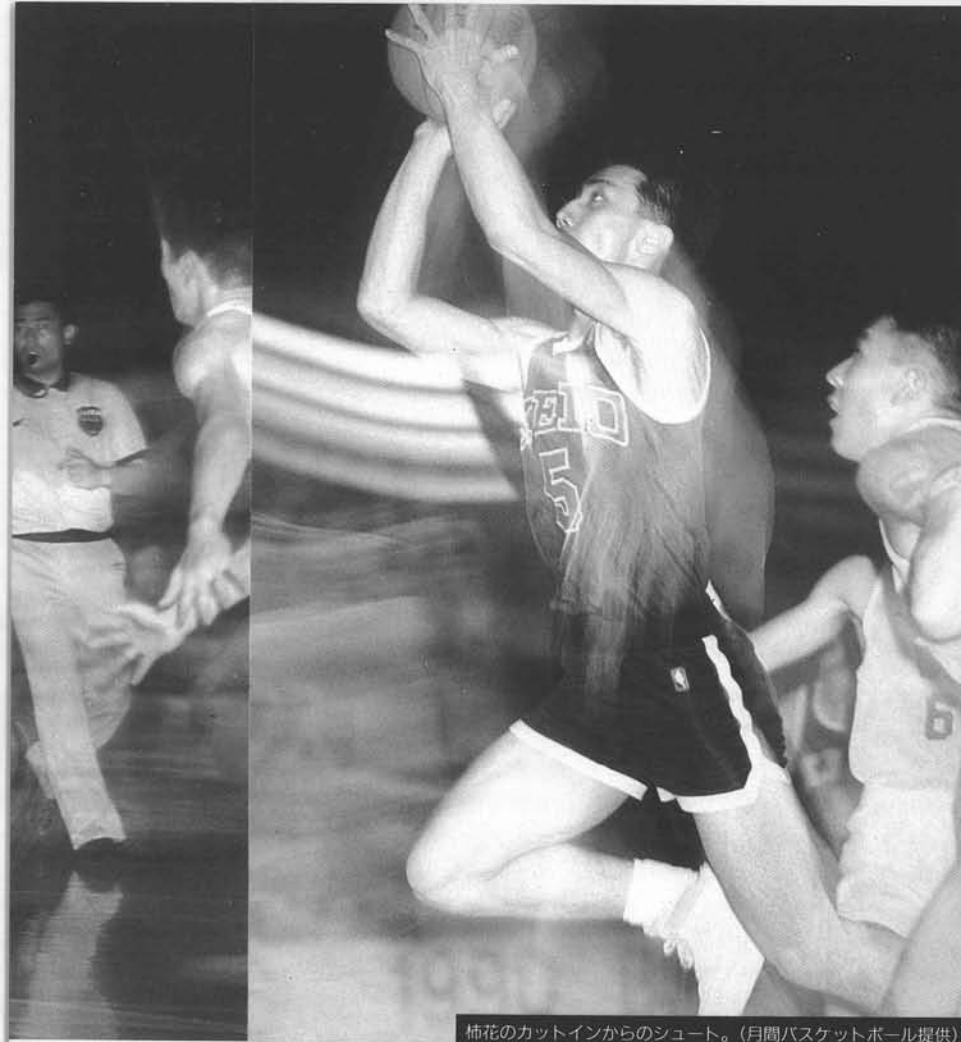


伊東、他チームベンチ。



コート全景(ゲーム中)。





柿花のカットインからのシュート。(月間バスケットボール提供)



ベンチ、シュートの成功に喜ぶ。



阿部、柿花、小沼勝利喜びの瞬間。



柿花、早稲田の堤部長から優勝トロフィーの授与。



金子のドリブル。(月間バスケットボール提供)



若手、OBの応援。

1924 塾内のバスケットボール愛好者が集まりクラブチームを結成し、東京YMCAで練習をはじめ。

1928 学生連盟に加盟、試合らしき試合が出来るようになる。

1930 関西との親善を図って関西大学と定期戦を開始。今日まで年中行事の一つとして交互に往来、1992年春には60回大会を迎える。

1931 塾体育会に加盟、フィッシャー先生を部長に仰ぎ、体育会の末席を占める。／5比島トーマスチームが来訪。塾単独で初めての国際試合。

1940 我が国のバスケットボール界の最高峰関東大学リーグに属する早稲田との定期戦を開始。試合はOB戦・現役戦とも各1回戦で、1992年に50回大会を迎える。

1945 終戦で当時の現役が三田の山に兵隊から戻り、部の再建に努める。

1946・3 復員がまちまちでこの頃に1チー

ム5人ほどが揃う。天現寺・幼稚舎体育館で練習開始。／6 関西大との定期戦再開、関西へ戦後初遠征した。

1947 秋、リーグ戦で部創立以来初の2位獲得。

1948 米国進駐軍(選抜チーム№1)ブーツ氏にコーチを受け、本場の科学的なバスケットボールの技術を学ぶ。

1949 関東大学リーグと関西の大学の覇者が東西対抗で学生王座を決定していたのを全国的に広め、参加チーム16校にて全日本学生選手権大会に変更。／11 選手権獲得を目指し米国でも有数の指導者であったハリス氏にコーチを受ける。

1949・12・2～5 名古屋にて第1回全日本学生選手権大会開催、優勝。創立以来はじめて学生ナンバー1となった。

1950・1 全日本総合選手権大会、2位。／3 戦後初来日外国チーム、ハワイAJAチーム

との大会に、本塾より4名が全学生軍に選抜される。

1950 関東大学選手権、関東大学リーグ優勝。全日本学生選手権、2連覇。全日本総合選手権、2位。

1951 年間25連勝無敗と創部以来の画期的な記録を残す。25連勝を記念し、千種部長のお骨おりで部歌が出来た。

1952・2 昭和26年度アサヒスポーツ最優秀団体賞、受賞。

1955 全日本学生選手権、2位。

1957 関東大学リーグ2位。しかし、全日本学生選手権で優勝、6年ぶりに学生王者に返り咲く。

1958 全日本学生選手権で決勝リーグ進出、立教大と同率となったが、大会規定により2位。

1959 関東大学リーグ10勝1敗で優勝。全日本学生選手権大会、5度目の優勝。



リバウンドボールをとる。8・小沼、5・稲葉。



優勝した瞬間のベンチ。左から小田、水野、伊東、(手を上げる)金子。



杯を受ける金子主将。早稲田の堤部長から。



シュートする稲葉。



シュート、11・吉崎。



6・湯浅

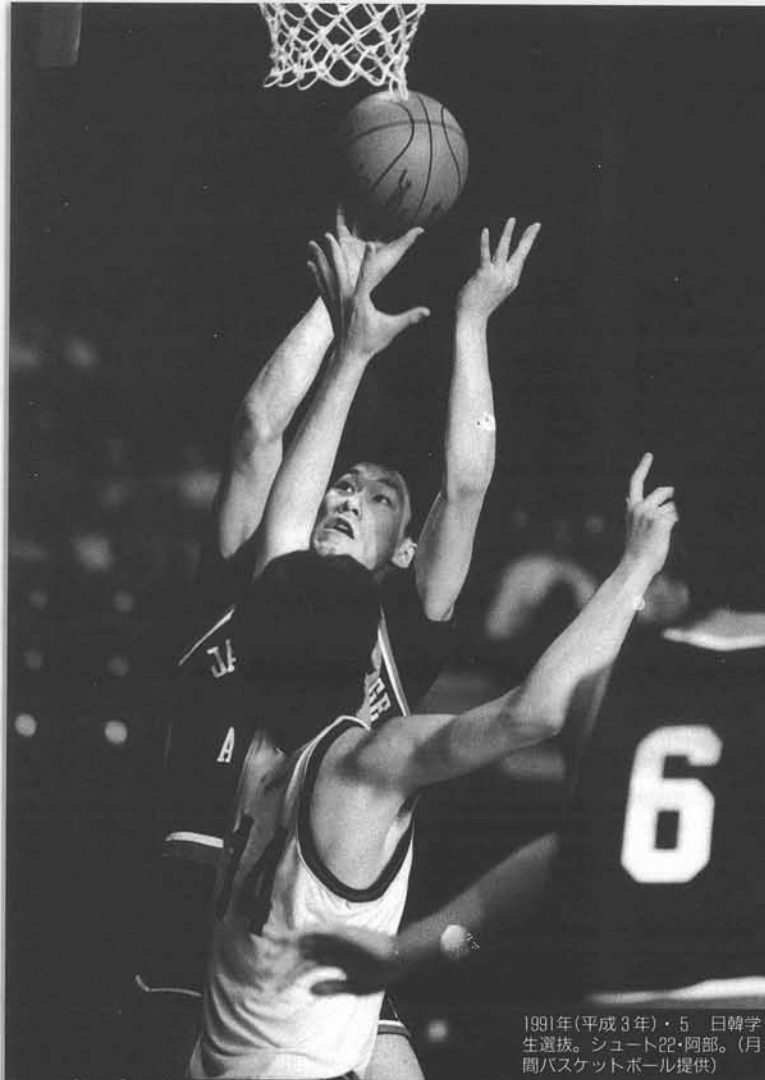
1960 春、関東大学トーナメント、優勝。
 1961 全日本学生選手権、2位。
 1962 関東学生リーグ戦、2位。
 1965 慶関、慶早戦ともに敗れる。／秋 関東学生リーグ戦、最下位。2部優勝の中央大との入れ替え戦2勝1敗で1部に残留。
 1967 夏、小泉基金によってスチュー・インマン氏コーチ招聘が実現。／秋 関東学生リーグ戦、5位。このときから2グループ5チーム総当たり2回戦となる。
 1968 引き続きインマン氏コーチ招聘。関東学生リーグ戦、全日本学生選手権ともに3位。
 1970 慶早戦6年ぶりに優勝。／春 関東大学リーグ戦、10年ぶり優勝。
 1973 総監督制を再編。主将の桑田健秀は、ナショナルチームに度々選抜される。
 1976 25年間部長を勤められた千種義人先生退塾され、盛大に送別会を挙行。
 1977 新部長に堀江湛先生が就任されたが、

塾常任理事就任のため辞任、新田敏先生を部長に迎える。
 1980・3・28 塾体育会加盟50周年祝賀会挙行。日本工業倶楽部、他大学チーム、学生連盟、塾体育会などの関係者を招待、OB、OGを含め210余名集まった。
 1990 インマン氏を夏合宿にコーチ招聘。
 1991 インマン氏を夏合宿にコーチ招聘。／11 関東大学男子リーグ戦、13勝1敗で2部優勝、8年ぶりに1部昇格。／12 全日本学生選手権に5位となり、1992・1の全日本総合選手権(全国ベスト24)へ出場、覇権を競うこととなった。
〈大学女子〉
 1952 同好者を集め女子部誕生。日吉記念館前にあったコンクリートコートを借りて練習する。
 1953 塾女子高から新人を迎え、関東大学3部リーグ戦に出場。

1959 3部優勝、2部に昇格。
 1964 関東大学女子リーグ戦2部優勝、入れ替え戦を経て1部昇格。
 1965 関東大学女子リーグ戦2部降格。のち10年間2部にあった。
 1976 関東大学女子リーグ戦2部優勝。再び1部昇格。

*

日吉・志木・女子高校(関東大会出場1回)の3部門にも塾体育会に認められたバスケットボール部があり、それぞれ数十年の歴史を持っている。日吉高はインターハイ13回出場のうち、準優勝、3位、4位の成績を一度ずつ獲得している。女子高は1971年の関東大会に出場している。



1991年(平成3年)・5 日韓学生選抜。シュート22・阿部。(月間バスケットボール提供)



1990年(平成2年)・6・10 慶早戦女子定期戦。左8・吉田より球を受けた11・田雨 上はドリブルインする11・田雨。



1991年(平成3年)・5・26～6・2 第25回関東女子学生バスケットボール選手権大会。



1990年(平成2年) 春、日吉に米国、ウィラメット大学を迎えて。



1991年(平成3年) 夏、夏合宿。日吉でインマンコーチを囲んで。



1991年(平成3年)・5・11 大阪にて。慶関定期戦。両校記念。



1991年(平成3年)・8・9 インマンコーチを囲む夕食会。OBを交えて。